

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	手洗い・消毒の励行、衛生管理	・外から帰ってきた際や食事前の手洗い・消毒、食事前・後の机ふきを徹底し、衛生管理に努めた。台ふきは定期的にハイターをした。各自のハンカチを持参させ、共用はしないようにした。机同士の間隔をあけた。
	健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	出欠確認、下館時刻の把握、確認	・出欠確認をし、子どもの所在を明確にした。下校時間が遅い場合は学校との連絡が必要であり、学校の理解を得ることが大切である。
		さくらdaysの活用	・欠席・早退等の連絡や学童からのお知らせ・学童クラブだより等資料の掲載で活用した。
		心理面、健康面の状況把握	・子どもの心理面、健康面の状況把握については、普段の様子を理解し、小学校や保護者と細やかに情報を交換できるよう努めた。
		あいさつの励行	・登館、下館時に一人ひとり声をかけるよう心がけ、子どもたちの状況把握、コミュニケーションのきっかけとして努めた。子ども全体にも挨拶についての話をした。
		身の回りの整理整頓	・自分のロッカーの片付け等自主的に行えるよう指導した。
		遊具の使用、片付けについての声かけ	・子どもたち全体で使い方を確認したり、使い方を明確にするなど今後も工夫が必要である。片付けないまま次の遊びにいかないよう随時声掛けが必要である。
		登館、下館、館外活動の際の安全指導	・帰る方向が同じ子どもたちをグループ分けし、まとまって帰ることができるよう努めた。交通ルールを守り、寄り道をしないなど、下館時のルールについておわりの会で折にふれて注意を促した。交通安全・防犯・避難についてのお話を定期的に行った。
		勉強の時間の確保	・勉強については、平日は帰館時すぐに行えるよう机を配置した。長期休業中は朝の会までの時間に学習・本読みの時間を設け、普段の生活の中では5時以降はできるだけ自主的に勉強ができるよう声かけをした。
子ども育成機能	生活体験の拡大	新入生を迎える会	・新しい仲間をあたたく迎えられるようプレゼント作りや、司会や迎える言葉、あそびの紹介の練習を行った。当日、在館生は司会、迎える言葉、あそびの紹介、プレゼント渡し、飾り作りをし、それぞれ役割があるようにした。
		おたん生日のお祝い	・おわりの会の時間に行う。おたん生日のお祝いをし、生まれてきたことへの感謝の気持ちや仲間を大切に思う気持ちを持てるよう努めた。また、司会については、子どもたちが自ら立候補して積極的に行うことができた。
		避難についてのお話、交通安全についてのお話、防犯についてのお話	・それぞれの内容について子どもたちに伝える。日々過ごす中で気にしてくれていたようだった。
		北・上京・中京区ブロック 児童館・学童保育所まつり引率	・『北・上京・中京区ブロック 児童館・学童保育所まつり』に引率する。
		お腹休めの取組 チャレンジDAY	・長期休業中には、工作などで座って休養できる時間を設け、健康管理に努めた。 ・色々なゲームなどにチャレンジする。子どもたちは楽しんでいた様子が見られた。
		お弁当いらないday	・夏休みに学童で希望制でお弁当を注文する。足りない人は、家から追加して持ってきてもらったりもした。
		紫竹まつり引率、紫竹ルネサンス引率・参加、紫竹ecoフェスタ引率	・紫竹小学校で行われた地域のイベントに参加する。
	社会性の養成	ドッジボールフェスティバル	・ドッジボールフェスティバルに向けて練習に取り組む。ルールの確認や挨拶なども練習する。当日は練習の成果をいかして頑張っていた。
		アイスクリームをつくろう	・大谷大学の持ち込み企画。申込制でアイスクリームを作った。アイスを作りながら大学生と交流し、どのようにアイスが出来上がるかも学んだ。
		お正月工作	・お花紙やティッシュペーパーを使い、今年の干支の蛇のしめ縄飾りを作る。先に作った子どもが後から作る子どもに教える場面もあった。
		3年生会議、2年生会議	・学童のリーダーとしてどのように日常過ごすのか、行事の内容、おわりの会の司会、月の目標決定などを行う。来年度学童のリーダーになる2年生には前もって会議を1回行い『3年生になったら自分たちがリーダー』という意識を持ってもらうようにした。
		4年生ミーティング、4年生以上ミーティング	・高学年の過ごし方について話し合う。
		3年生打ち合わせ、4・5年生打ち合わせ	・3年生（以上）企画前に企画の打合せや準備を行う。
		3年生企画、3年生以上企画	・3年生または3年生以上があそびやゲームの企画、準備をして当日を運営する。積極的に運営してくれていた。
		お楽しみ会	・今年度のメンバーで楽しむ最後の行事で、3年生が考えたしっぽとりを楽しむ。また、おやつも特別なものを用意した。
		新入会生へのプレゼント作りの取組	・新入生に向けてのブラバンキーホルダーを作る。丁寧に仕上げてくれた。
	子育てに必要な情報の提供と交換	がくどうクラブだよりの発行、さくらdaysの活用	・毎月の発行で、行事予定や学童クラブでの子どもの様子を伝えることができた。 ・裏面は写真が多くなるようにし、見やすい紙面作りにつとめた。
		保護者懇談会	・家庭と児童館における子どもの様子について情報交換を行い、共通理解に努めた。また、普段顔を合わせることの少ない親同士が顔合わせをし、同じ学童クラブの保護者として関係をつなげることができた。会の中で保護者交流の時間を設けることにより、短い時間ながらも交流ははかれた。土曜日昼・夜間に行う等日時の設定には配慮したものの全体的に出席者は少なく、今後保護者懇談会の持ち方に工夫が必要である。

子育て支援機能	子育ての仲間づくり	個人懇談	・個人懇談では、子どもの具体的な様子を情報交換できた。日常的・継続的に、普段の子どもの様子や課題を伝える工夫が必要である。期間外にも、希望があれば懇談を行った。
		親子交流行事	・2回行う。保護者間の交流もあり、子どもの様子を知ってもらいいい機会になった。『親子あそび』、『紙コップであそぼう』では参加者同士交流を図れた。
		保護者学習会	・講師を招き、「子どもの発達で気をつけたいこと」というテーマで行う。終了後、個別相談も行う。参加された保護者からは、参加して良かったという感想をいただいた。
		登録前説明会	・来年度学童クラブに登録を希望される方に向けての説明会を行う。登録前に学童クラブの様子を知ってもらうことができた。
		入会説明会	・学童クラブの入会が決まった家庭に向けて説明を行う。質問も出て、気になることを解消してもらうことができた。
	子育てを支えるネットワーク形成	登録前説明、入会前説明、入会前面談	・入会説明会に参加できなかった家庭に向けて行う。また途中入会家庭にも行った。また、希望家庭には面談を行った。
		小学校、保育園、関係機関との懇談	・子どもの全体的な姿を理解し、子どもへの日々の関わりや対応を工夫することができた。また、子どもの様子を伝えることで、子どもが直面している課題や問題を理解し、工夫することができた。今後も積極的に連携をし、相互理解を深め、共に子どもを見守っていく関係作りが必要である。
		介助者ミーティングの開催	・今年度は行えなかった。随時聞き取りを行う。
		地域会合、地域行事への参加	・子どもが抱える悩み、問題、課題を地域に発信し、地域全体で子どもを育て、子育て家庭を支えていく体制作りが必要である。
		ケースカンファレンス	・ケースカンファレンスに出席する。

令和6（2024）年度学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

紫竹児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
生活援助機能															
手洗い、消毒の励行	毎日														外から帰ってきたときや、食事する前に手洗い・消毒をするように指導する。
挨拶の励行	毎日														節目節目の挨拶を大切にする。
さくらdaysの活用	毎日														出欠確認や保護者の方との連携を取るために活用する。
遊具の使い方及び片付け	毎日														掲示物で啓発するとともに、随時子どもたちに指導する。
登下館の安全指導	毎日														約1か月下館時に職員が引率した。それ以降は必要に応じて行った。また安全に登下館できるように、見守り、指導を行う。
健康観察	毎日														日々の子どもの体調を観察する。
子ども育成機能															
新入生を迎える会	1	27	23	16		2								68	新入生を迎える会を行う。
避難についてのお話	4	62	58	45	30	5								200	火事や地震・水害が起こったときの避難経路や避難の仕方について説明、確認をする。図を使用したりして児童にわかりやすいようにした。
おたん生日のお祝い	12	234	183	124	109	15								665	みんなで生まれてきたことに感謝し、お祝いする。
3年生会議	11			118										118	5月以降毎月行う。学童のリーダーとしての自覚を促す。おわりの会での司会についてや3年生企画について、おわかれ会についてなど話し合った。
4年生ミーティング	6				60									60	4年生の子どもたちを対象に行う。高学年としての過ごし方などを話し合う。
交通安全についてのお話	3	69	44	35	23	5								176	交通安全について指導した。
北・上京・中京区ブロック 児童館・学童保育所まつり引率	1	3	1	4	1	1								10	『北・上京・中京区ブロック 児童館・学童保育所まつり』に引率・参加した。
お腹休めの取組	15	34	51	43	24	9		1						162	夏休み中、冬休み中の身体を休める時間を使い、工作などを行う。
チャレンジDAY	3	22	35	28	22									107	子どもたちがあそびやゲームなどいろいろなことにチャレンジできる取組を行う。
3年生打ち合わせ	1			12										12	3年生企画前に打合せを行う。
4・5年生打ち合わせ	1				12	1								13	3年生以上企画前に打合せを行う。
3年生企画	2	44	38	38	28	1								149	3年生にあそびの企画を考えてもらい、事前準備から当日の運営をしてもらう。夏休みには、「ビンゴゲーム」、「ボウリング」、「コイン落とし」をし、冬休みには「射的」を行う。
お弁当いらないday	1	24	22	15	13									74	夏休み中に希望制でお弁当を注文する。
防犯についてのお話	3	51	35	24	18	3								131	防犯について指導した。
紫竹まつり引率	1	4		3										7	館から引率で地域のまつりに参加する。
ドッジボールフェスティバル	1		6	3	5									14	ドッジボールフェスティバルに参加する。また事前に取り組む。
4年生以上ミーティング	3				22	5								27	4年生以上を対象に行う。学童での高学年としての過ごし方（おわりの会等）を話し合う。
紫竹ルネサンス引率	1	1	1	3	1	1								7	紫竹小学校で行われた地域のイベントに参加する。
アイスクリームをつくろう	1	6	7	3									8	24	大谷大学の持ち込み企画。大学生と交流しながらアイスを作る。
お正月工作	2	10	12	8	3	2								35	冬休みに今年の干支の蛇の飾りを作る。
紫竹ルネサンス参加	1	1	1	3	1	1								7	紫竹小学校で行われた地域のイベントに参加する。

3年生以上企画	1	25	14	10	6	1								56	3年生以上が企画・運営をする。
紫竹ecoフェスタ引率	1	2	1	2	1	1								7	紫竹小学校で行われた地域のイベントに参加する。
お楽しみ会	1	20	17	10	5									52	学童クラブのおたのしみ会として、子どもたちによるゲーム、3年生が提案してくれた「しっぽとり」を行う。
新入会生へのプレゼント作りの取組	2														新入会に向けてプレゼントのプラバン作りを行う。
2年生会議	1		8											8	3年生になる前に、どんな3年生になりたいか話し合い、学童の3年生像を共有する。
子育て支援機能															
学童クラブだよりの発行	12														毎月の子どもの様子や予定をさくらdaysでお知らせする。
学童クラブだより号外の発行	1														3月の子どもの様子をお知らせする。
入会前説明	9							1					12	13	学童クラブ入会前に説明を行う。
個人懇談	32	1						3					36	40	各家庭と子どもの様子について伝え合い、情報を交換し、理解を深める。
保護者懇談会	4	7		1				6					75	89	学童クラブの保護者を対象に懇談会を行う。
紫竹小学校との懇談・連携	4												2	2	学童クラブの子どもたちの様子を伝え合う。
親子交流行事	2	15	4	10	5	1							24	59	学童保護者同士の交流、また、子どもの学童での様子を見ていただくため、『親子あそび』、『紙コップであそぼう』を行った。
登録前説明	1												1	1	学童クラブ入会前の説明を行う。
子育て相談	1												1	1	学童クラブの子どもの相談を受ける。
登録前説明会	1												26	26	学童クラブの登録に関する説明会を行う。
保護者学習会	1		2		1								7	10	講師を招き、「子どもの発達で気をつけたいこと」について学童クラブの保護者を対象に学習会を行う。終了後、個別相談の時間も設ける。
入会説明会	1												39	39	学童クラブの入会前の説明会を行う。
入会前面談	4												5	5	学童クラブ入会前に面談を行う。
洛北幼児園との連携、紫野保育園との連携	1														来年度入会予定の児童を対象にした、就学前懇談を行う。
ケースカンファレンス	1														ケースカンファレンスに参加する。

＊注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること
 ＊注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること